

Word 画作成に関する資料- 1

本書は M.Takahasi 氏が作成したものを流用転載。
また、Word 画作成資料用に文面を一部変更しました。

変更日:2014 年6月19日

「WORD画」の描画ポイント

この講座はWordの描画機能を使い絵画調の絵を描くことを目指します。この分野は資料が少なく描画技術が確立していない状況にあります。講師・受講者が一体となって描画技術の向上とWordに隠された機能を研究します。


1. 講座要領

①講座は月1回～2回で1回2時間～3時間を予定。

教室は生涯学習センターのパソコン研修室又はミーティングルーム使用。

②実施の曜日は講師都合と皆さんの希望で設定。

2. パソコンの諸設定 (各種設定は文章に合うようにを入れ・外すし設定する)

A. 罫線の設定をページレイアウトのグループ表示から ⇒ページ設定  から

①ページレイアウト→グループの表示→文字数と行数表示→グリッド線→グリッド線設定→

(最少単位として)文字間隔=0.01文字。行間隔=0.01行に変更→既定に設定

オブジェクトの移動量は、1/18 mmずつ移動する

500%に拡大移動を確認



②グリッド線が非表示の時に描画オブジェクトをグリッド線に**合わせない**。=を外す。

③描画オブジェクトを他のオブジェクトに**合わせない**。=を外す。

B. Wordを開きファイル TAB→オプションから各種設定をする

①オブジェクトを**印刷する**。(表示の印刷オプション) =を外す。


②背景の色、イメージを**印刷する**。(表示の印刷オプション) =を外す。

③オブジェクトの挿入時に自動的にキャンバスを**出さない**。(詳細設定の編集オプション) =を外す。

④図を貼り付け/挿入時に貼り付ける型式→**「前面」に設定**。(詳細設定の切り取りコピー貼り付け)

⑤使用する単位→**「mm」**(詳細設定の表示)

C. 「図形の書式」の「グラデーションの回転を設定」。

図を選択→描画ツール・書式→図形のスタイル 、グループを表示→図の書式設定が開く→グラデーション→「図形に合わせて**回転する**」に=を付ける。

D. その他

①文章とオブジェクトは**一緒に移動する**。(図を選択→図上で右クリック→図の書式設定→レイアウト→(右下の)書式設定→位置→オプション→を入れ上記を設定する

③クイックアクセツツールバーによく使うアイコンを**出すと便利**。(ファイルTAB→オプション→クイックアクセツツールバーで設定

例→

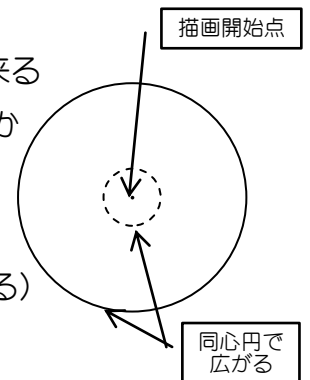


3. 左SHIFTの効果 (以下、左SHIFT=S、CTRL=C、ALT=Aとする)

- ① S+クリックで複数の図形を連続して選択できる。
- ② S+回転(緑の小丸)で図形を15度ずつ回転。(15度, 30度, 45度, 60度, 90度)
C+A+矢印キーを1回押しで1度ずつ回転
- ③ C+描画(ドラック)で正円や正方形が描ける(Cを押しながらのドラック)
- ④ S+矢印キーで図形のサイズを変更できる
(S+→=幅拡大、S+←=幅縮小、S+↑=高さ大、S+↓=高さ小)
- ⑤ SHIFTを押しながらのドラック移動は→水平・垂直方向に移動する

4. CTRLの効果

- ① C+Cでコピー、C+Vで貼付け、C+Dでコピーと貼付けが同時に出来る
- ② S+Cの同時押しで細かい移動や細かい回転、細かい大きさの変化が出来る
- ③ C+図形のドラックでサイズ拡大・縮小をすると対称に変化する
- ④ C+図形の描画は中心から外周に拡大して描ける。
- ⑤ C+クリックで次々と複数の図形を選択できる。(失敗すると図形が増える)
- ⑥ C+矢印キーで文節が選択できる。
- ⑦ 頂点に合わせてC+クリックで頂点が削除できる



5. ALTの効果

- ① A+移動(ドラック)は設定の罫線に図形が吸い付く
Wordは行や文字の設定に吸い付く。Excelはセルの罫線に吸い付く。

6. SHIFT+CTRL

- ① S+Cで描画すると正円正方形が中心から描ける
- ② S+C+矢印キー文字が選択できる。

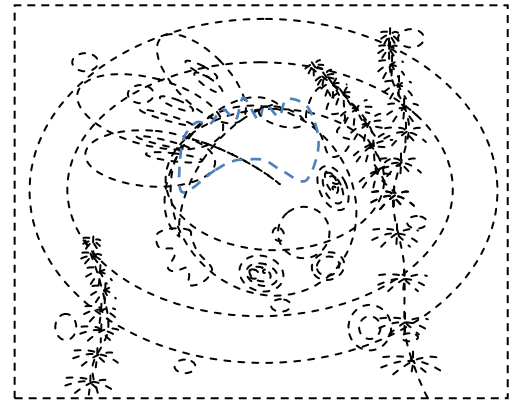
7. その他のポイント

- ① グループ化した後でも、2度目のクリックで、単一の図形として移動や削除・各種変更が可能。
(便利な反面、自由に動くので、図形が崩れる)
- ② 基本図形も頂点の変更ができる。頂点の削除で必要に無い枠線を消せる。
- ③ 基本図形の黄色いダイヤをドラックすると図形の形が変形する。
- ④ 枠線は拡大・縮小に追従しない。描画時のポイント数(pt)は固定で拡大・縮小しない。
- ⑤ 文字も④同様に拡大・縮小しない。文字を画像に変換して(スクリーンショットやペイントで)
- ⑥ 描画は100%~200%で。詳細部確認は300%~400%で。全体バランスは1/4表示で確認。

8. 図形には「アウトライン画像」と「ビットマップ画像」がある

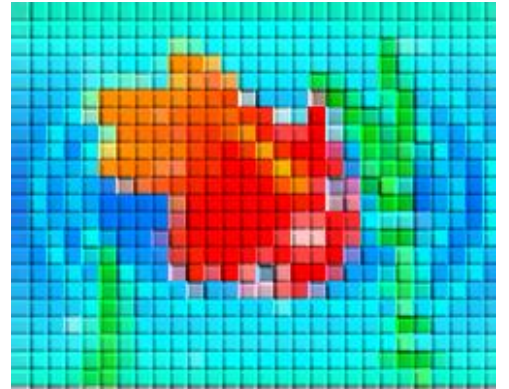
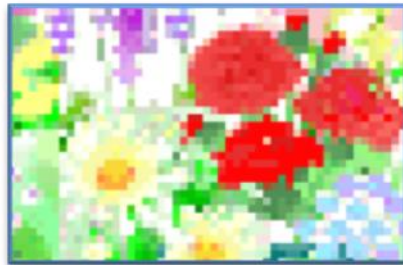
①アウトライン画像: 枠線等で図形を描き、中の部分を色などで塗りつぶした画像。

単一図形の重なりで絵を表現する。(図形情報と塗りつぶし情報の2つを持つ)



②ビットマップ画像: 写真などと同様にモザイクタイルのように色の異なる点の広がり

図形を表現する。





9. 塗りつぶしの色


①単色

- RGBの数値が「1」でも変われば違う色
- 上 1/3 は明るい色合い。イラスト向き
- 中 1/3 は濁りが入った色で絵画調の絵に使うと深みが出る。
- 白と「色なし」の使い分けを明確に。

②グラデーション 分岐点()は →
10点(10色を指定できる)

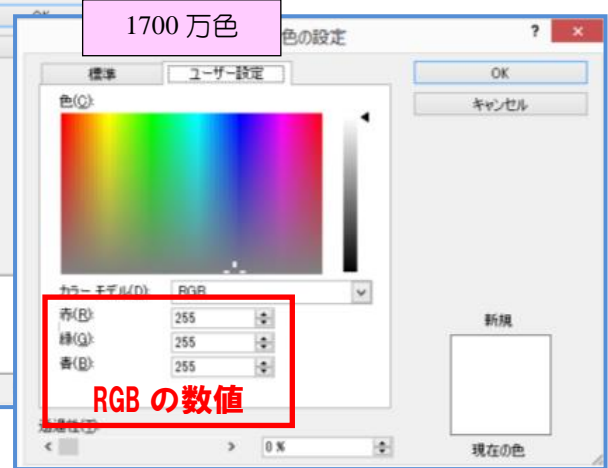
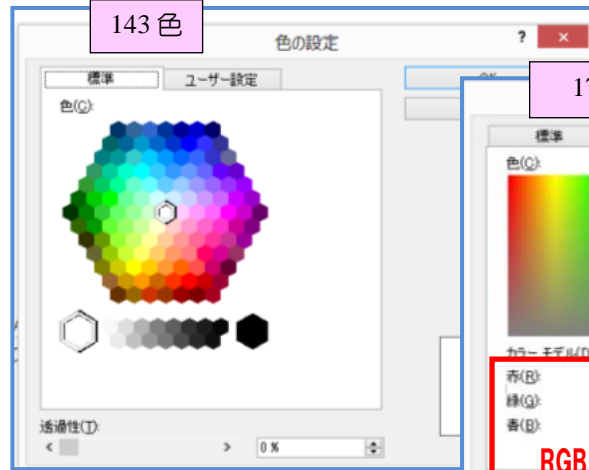
③テクスチャ → 

④パターン → 

⑤図や写真 → 



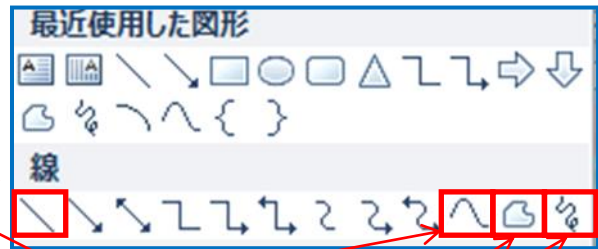
色の選択の方法・3種



10. 線を描く

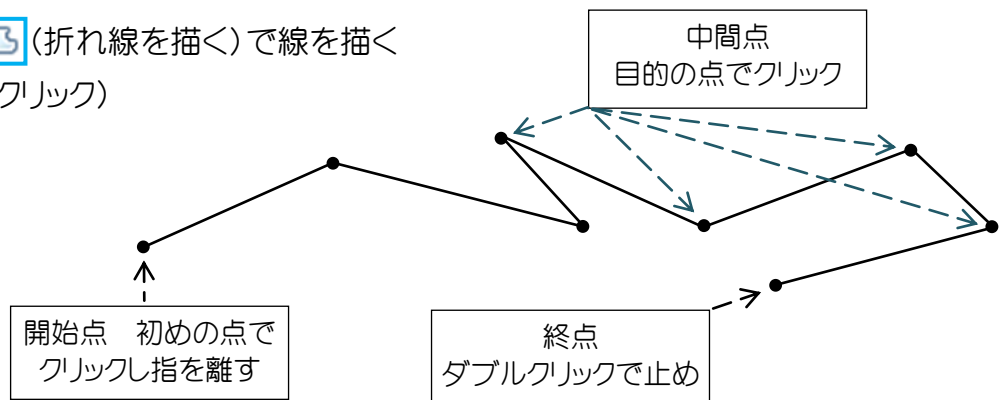
- ①直線
- ②曲線
- ③フリーフォーム
- ④フリーハンド
- ⑤その他

挿入→図形から次のメニューを出す(線以外は省略)



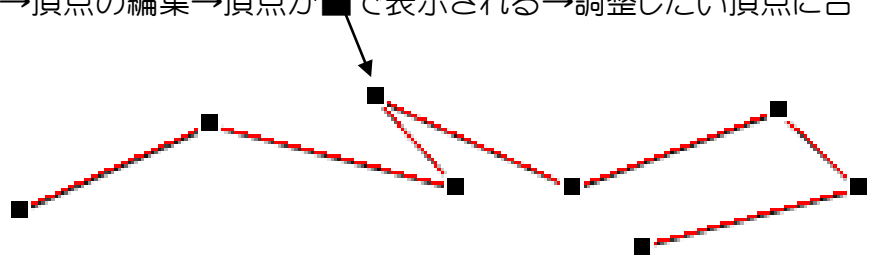
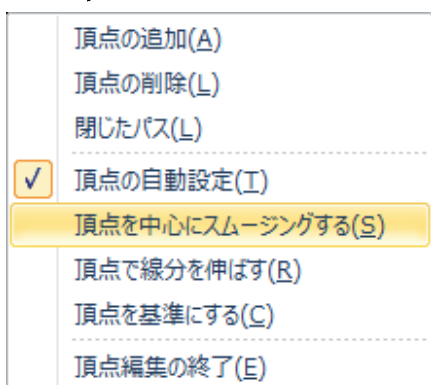
11. フリーフォームー I (折れ線を描く) で線を描く

- ①線を描く(7~8回クリック)



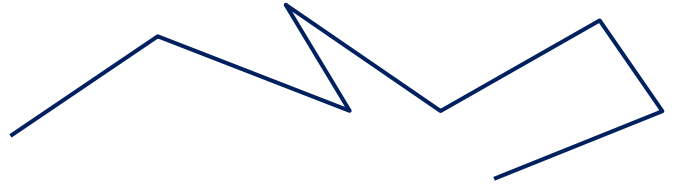
- ②頂点の調整 (頂点=描画時にクリックした点)

図形を選択→書式→図形の編集→頂点の編集→頂点が■で表示される→調整したい頂点に合わせ→右クリックでメニュー;



③線を描き頂点を出しメニューに従って頂点を調整する

- 右の青い線を使い練習
- 図の右クリックでも頂点の編集が出る
- 頂点に合わせて右クリックでメニューを出す
- 頂点の追加・削除を含め各調整を行う



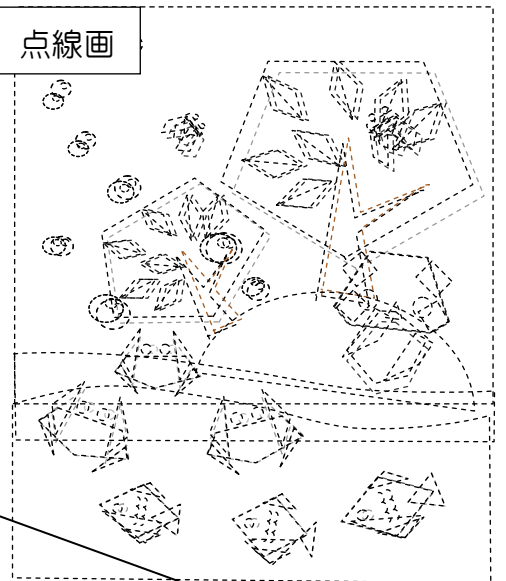
12. フリーフォームを使い、折り紙絵画「パンダとカニ」を描こう

②WORD画

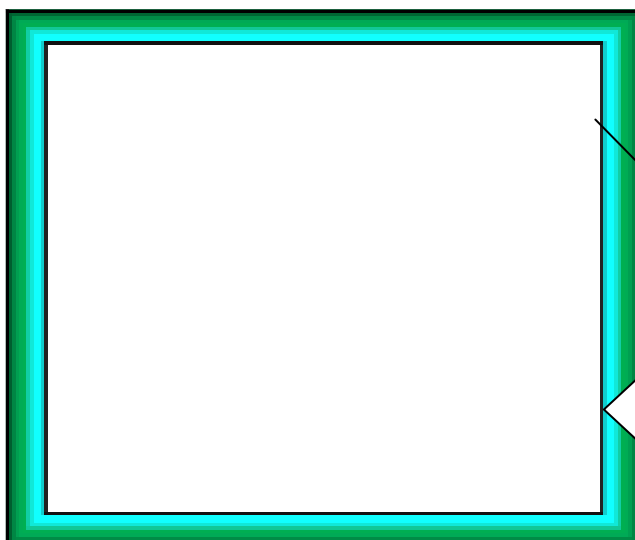
① 原画



②-1 点線画



③額縁の描画



88

88

91

92

95

97

99

99

0~88 は透明

⑤ 絵画部分のみを「ペイント」に貼り付けし、加工したビットマップ画像に変換

BMP



④ 額縁の色とグラデーション
分岐点の位置を%で表示

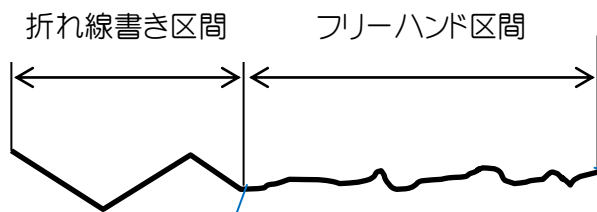
⑥ (書式) ーで加工を額縁と合体

JPEG

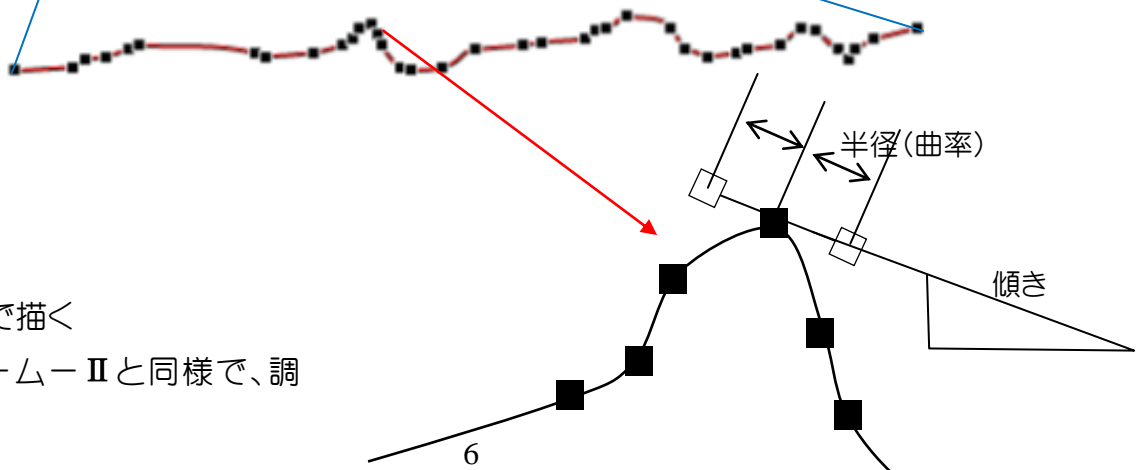


12. フリーフォームⅡ (フリーハンド)で線を描く(任意の曲線を描く)

折れ線書き区間とフリーハンド書き区間を連続で描画できる




フリーハンド区間の描画は、自動的に多くの頂点が設定され、それぞれの頂点に「傾きと半径」が固定されるので、線の修正が極めて困難。(実用的でない)

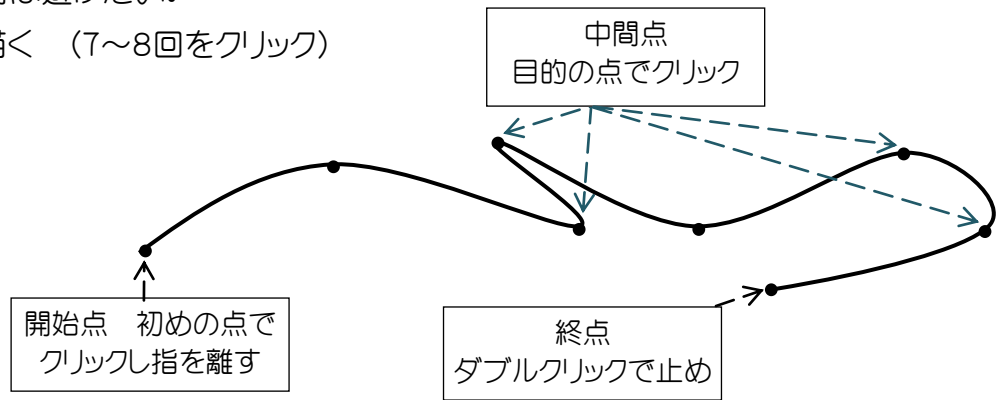


13. フリーハンドで描く

フリーフォームⅡと同様で、調

整が困難。使用は避けたい。

14. 曲線  で描く (7~8回をクリック)



15. 曲線を主体に「藤代清治」の「こびと」を描こう

原画



オオルリは描かない

Word画

R=224
G=201
B=136



点線画



周辺の飾り付

